

楽しく・易しいロゴデザイン学習

Fun and easy logo design learning

宮川亮太郎

指導教員 李盛姫

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

キーワード：デザイン教育、体験授業、ICT教材

1. 研究背景・目的

ロゴデザインはシンプルな色・形の造形でありながら、色々な背景や制約、メッセージが込められている事がある。最近ではデジタル庁のロゴが策定された。シンプルなデザインで視認性が高く、デジタル庁のミッションであるスタートアップ・スピーディー・デジタルといったキーワードを軸に制作されている。図形（シンボルマーク）は用意せず文字（ロゴタイプ）のみで制作されており、書体には、ネット環境があれば、無償利用できるフリーフォントが用いられている。また数あるフリーフォントのなかから、環境によって表示できない文字をなくす挑戦から生まれた「NotoSans」が採用されている。そこには費用をかけず、スピーディーに進めるという意味も込められている。こう言ったようにロゴデザインはとても奥が深く、考える力があれば気軽に制作することが可能なのだ。私は多くの人に認知してもらいたいと思っている。本研究は『デザインを敷居の高いものとせず、誰でも簡単に始められる』ということを示すのが、最終目標であり、題材としてロゴデザイン制作を取り入れる。

2. 調査分析

ロゴデザインとは、製品名や社名などのロゴタイプをデザインすることを指標する。ロゴは、製品名や社名だけでなく、そのコンセプトや特徴、理念な

ども含めて視覚化したもので、CI（コーポレート・アイデンティティ）の面で重視されており、私たちの生活は様々なロゴに溢れている。ロゴデザインは、文字をシンボリックに表現したロゴタイプと、内容を図案化したシンボルマーク、2つを組み合わせたロゴマークの3種のいずれかに分類される。上記で記したデジタル庁のロゴはロゴタイプに該当される。ロゴタイプは、基本的に文字のみで構成されているので、シンプルだが、文字のみで構成というのは難易度が高く、デザインしている感覚を掴めないと考える。今回は親しみやすいシンボルマークを中心に学習内容を考えることにした。いくつになっても新しいことに挑戦できるとはいうものの、年齢を重ねるごとにハードルが上がる、モチベーションを維持するのが難しい、と感じる人も多いだろう。年を取っていても学習意欲が起こり、逆に抑圧すると学習意欲が低下することを確認している。これらのことから、これからの中学生をターゲットにしたいと考えた。

3. アイデア展開

本校には年4回の体験授業が中学生対象に実施されている。体験授業とは、その学校に関心のある学生や保護者に学校のことを知らうために、一部の授業や課題制作を体験できる講座のことである。自分に合っているかイメージすること

が出来、新たな知識を得る事ができる。また自分のやりたい事が明確になり、同じ分野を志す先輩や専門の教員が相談に乗ってくれる。現在、本校デザイン学科ではグラフィックデザインコースにMacでオリジナルデザインの体験授業が開設されている。グラフィック作業用のMacを使って、自分でデザインしたグッズを制作する講座である。デザインのテーマは設けずに自由に表現してもらう内容である。しかし、受講者の中には中々取り組めずに困ってしまう生徒もいる。本研究はそのような受講者も含めて、楽しく・易しくロゴデザインに触れることができると考える。そこで私は体験授業のプロデュースを提案することに決めた。実際に体験授業に参加し、スタッフや受講生にインタビューを通して現場での課題点を洗い出し、解決するためのアイデアを提案する。問題点として、受講生側はテーマが無いと何を作れば良いか迷ってしまうという点や講座のマニュアル用リフレットが活用されていない問題が上がった。これらの課題を解決するべく、教材を動画で製作することに決定した。ICT教材はなるべく文字を減らし直観的に楽しい、そして易しさを感じられるようなロゴデザインを目指す。

4. 最終提案

体験授業で使われる教材や資料を分かりやすい動画教材として提案する。具体的な提案物は、アルファベットのロゴデザイン（26文字）、イラストレーターの基礎教材動画、ロゴデザイン解説動画、スタッフ引き継ぎ動画である。

4-1. アルファベットのロゴデザイン

A～Zまでのアルファベットのオリジナルロゴマークを教材として作成する。アルファベットに選定した理由は、誰もが使う言語で自分のイニシャルと同じ文字があれば、親しみやすいと考えたためである。

4-2. イラストレーターの基礎教材動画

図形ツールやペンツール、文字ツールを基本とし、イラストレーターの基礎の部分を学ぶ。これはAdobeイラストレーターの教材動画を参考にして

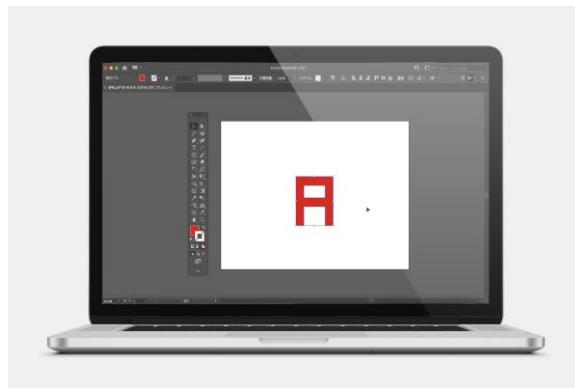
いる。チャプター別の構成で自分の制作に必要な分だけ再生して学ぶことができる。これらの教材は授業の補完となるように活用し、あくまでもスタッフの負担軽減が目的である。

4-3. ロゴデザイン解説動画

ロゴデザインについて起源や歴史を知ってもらい、事例を紹介し、授業に導入しやすくする。

4-4. スタッフ引き継ぎ動画

体験授業内容が別のスタッフにスムーズに引き継げるよう動画で制作する。



5. 今後の展開

体験授業の様子や雰囲気作りを大切にし、中学生が体験しやすい環境にしていきたい。試作を制作し、実際に使用してみる。これらを検証し最終提案物を制作する。

[2] ロゴデザインとはグラフィックデザイン

https://school.dhw.co.jp/course/graphic/contents/w_logodesign.html

2021/10/18/11:20 時点

[2] 2021 開庁、デジタル庁のVI

<https://www.digital.go.jp/about/brand>

2021/10/18/13:32 時点

[2] 年齢と共に学習意欲が低下するのは、脳回路の活性低下が原因だという研究

https://engineer.fabcross.jp/archieve/201217_learn-declines-with-age.html

2021/10/18/14:07 時点